



From
the People of Japan

アフリカ地域局の2020年プロジェクトハイライト - 2019年度の日本政府
補正予算プロジェクト期間 - 2020年3月~ 2021年3月

人道・開発・平和の連携 (ネクサス)

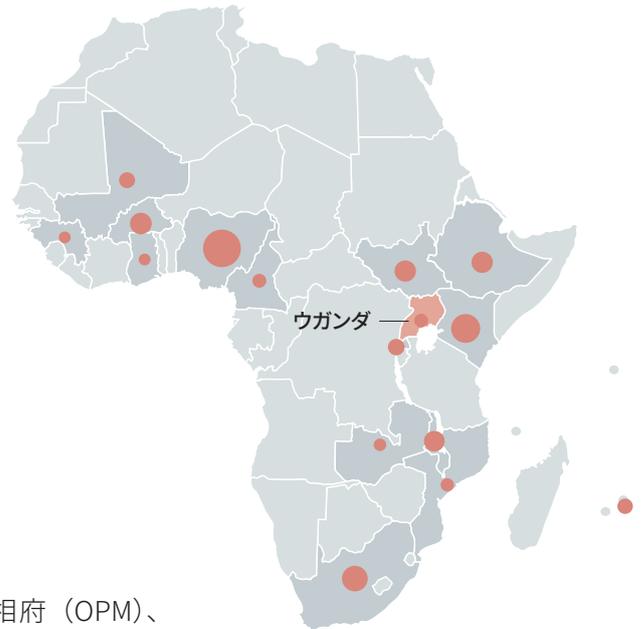


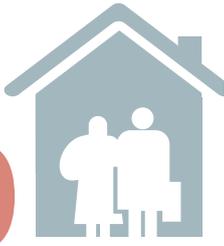
ウガンダ

「ウガンダ北部の難民と受入コミュニティの再建に向けた人道支援、開発、平和構築の連携の促進」プロジェクト

推定500万人の人々が、コンゴ民主共和国、南スーダン、ブルンジ、ルワンダ、ソマリア、エリトリアその他の不安定な国々から避難を余儀なくされており、このような近隣諸国から避難してきた非常に多くの人々がウガンダに庇護を求めています。「ウガンダ北部の難民と受入コミュニティの再建に向けた人道支援、開発、平和構築の連携の促進」プロジェクトは、難民と受入コミュニティを再建し、女性の生計手段の拡大を目的としています。

UNDPでは、道普請人 (CORE) ウガンダ事務所、首相府 (OPM)、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) と関連省庁、西ナイル地域をはじめとするウガンダ全土の県と連携し、国際協力機構 (JICA) もプロジェクトに協力しています。



1,000 

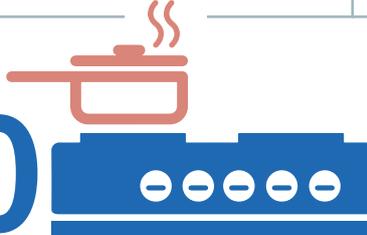
2021年3月までに、パラベック居住地の受益者1,000人（難民700人、受入コミュニティメンバー300人、うち女性60%）を対象としています。

53,000 

新設もしくは整備された道路インフラを利用できるようになる受益者は、約53,000人にのぼります。

500 

500人の受益者を対象に4カ所の苗畑を提供。

300 

300人の受益者に料理用コンロ600台を提供

100 

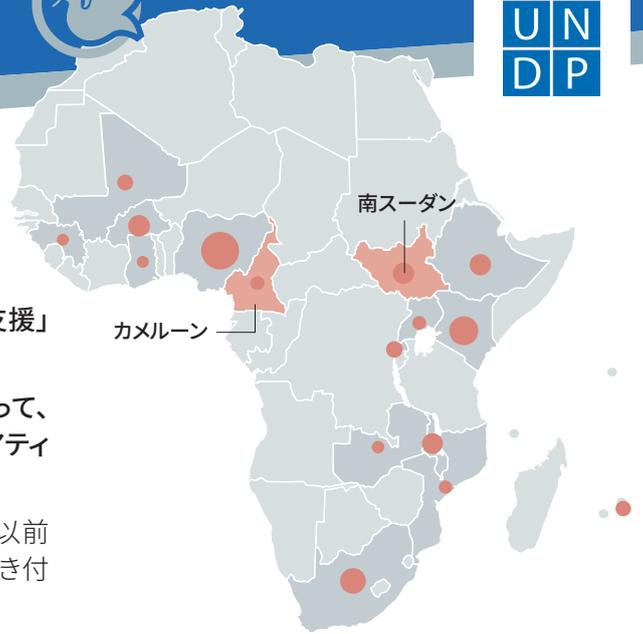
地質調査と道路補修の分野で100人を訓練



From
the People of Japan

アフリカ地域局の2020年プロジェクトハイライト – 2019年度の日本政府
補正予算プロジェクト期間 - 2020年3月～2021年3月

人道・開発・平和の連携
(ネクサス)



南スーダン

「恒久的平和に向けた安全で尊厳ある自主的な帰還への支援」プロジェクト

南スーダンでは、南スーダン国民対話プロジェクトによって、包摂的な参加型の協議を通じた国内の平和と和解イニシアティブの強化と促進が行われました。

UNDPと連携した日本政府の支援により、国民対話は、以前の和平プロセスよりも多くの南スーダンの人々の関心を引き付けるようになりました。

日本政府はUNDPと連携し、国民対話の提言の重要な柱である、現地レベルの安全保障の改善と法の執行に対する国民の信頼の向上のために、補完的な支援を提供しています。



500人（うち60%が女性）が直接の法的支援を受けます



250,000

250,000人（うち51%が女性）が人権啓発のメッセージを受け取ります。



500 200,000

80の郡の代表者500人が南スーダン国民対話会議に出席

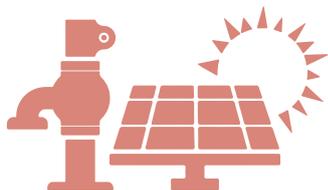
60,000人が国民対話会議に参加、国内外を合わせた参加者は200,000人超

カメルーン

「人道支援・開発・平和の連携を通じたカメルーン極北州、北西州および南西州における早期復興努力への貢献」プロジェクト

カメルーンは、極北州におけるボコ・ハラム関連の危機、東部州における中央アフリカ共和国（CAR）からの難民の流入、西部州における非国家武装集団（NSAG）との緊張関係、全州における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックなど、いくつもの人道危機に直面している脆弱国です。このプロジェクトは、弱者層の、環境、社会、経済面の危機に対する抵抗力を高めることで、人道支援、開発、平和の連携と、極北州における安全保障、北西州と南西州における早期復興に貢献することを目指しています。

このプロジェクトは、カメルーン農業・農村開発省、UNDP、UNHCR、国際協力機構（JICA）間のパートナーシップを通じて実施されています。



極北州において太陽光発電によるくみ上げ式の井戸2本の建設と井戸1本の修繕

2,300

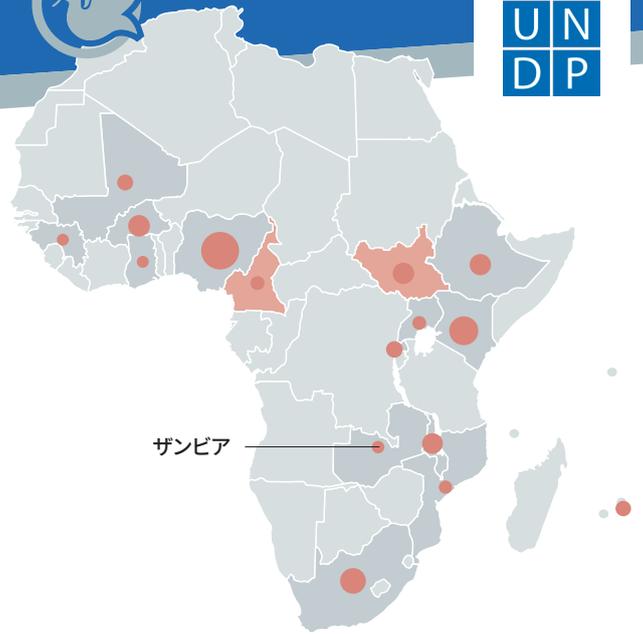
3本の井戸から2,300人が直接的恩恵を受けられます。



From
the People of Japan

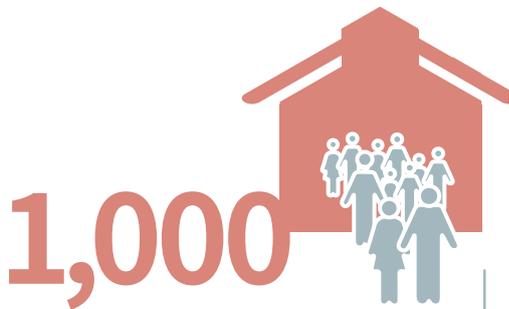
アフリカ地域局の2020年プロジェクトハイライト - 2019年度の日本政府
補正予算プロジェクト期間 - 2020年3月～2021年3月

人道・開発・平和の連携
(ネクサス)



ザンビア

「ザンビアの難民人口に対する早期復興介入を通じた
人間の安全保障の促進」プロジェクト



新設された太陽光発電システムにより、
現在では、毎月1,000人を超える患者（ア
ンゴラとルワンダからの旧難民およびザン
ビア人）が、24時間体制の診療所2カ所
を利用可能に



社会サービスセンターが復旧し、マ
ユクワユクワの約2,000人、メヘバ
の約4,500人のアクセスが向上。



4.5kmの道路インフラの
改善によって、20,000人
が長期的な恩恵を受けら
れるように。



メヘバとマユクワユクワにジェンダーに基づく暴力
に対するワンストップセンターが開設され、人権意
識が高まり、家庭内暴力の件数が減少。



698
農業、家畜の飼育、小規模事業用の698の区画をメヘバ
に整備。生計が改善され、個人の安全向上と社会包摂、
社会融和の強化を実現。